



ZERBINO
Coat Collection



Single Chesterfield Coat

歴史は19世紀にまで遡る。
チェスターフィールド伯爵家の分家メンバーが
愛好していたと伝わるが、
このコートの出自は定かではない。
遊びのないこのデザインこそが
最も男性を愜ましく彩る。
王道のシルエットではあるが、
縊れたシルエットの注文服と
そうでないものとは明らかな差が生まれる。



Bal Collar Coat

そのコートを羽織った人は、颯爽と街を歩いて
いた。
確りと形成されたショルダーは身体に沿った
シェイプをつくり、精悍でライムな表情をもつ。
ZERBINOではテーラリングへの敬意を払い、
ラベルのあるデザインを採用。
軽やかながらも上品な見た目に。
ラベルを翻して防寒性を高めることも可能。



Double Chesterfield Coat

ハイウエストから広がる、裾にかけてのドレープ。
シングルチェスターをダブルにしたデザイン。
ラベルの幅を広く設定し、大胆に胸のボリュームを
増して見せる。
ウエストにかけて絞りの効いた
ダブルチェスターが、シングルに比べて、
より気品の高い印象を与える。



Ulster Coat

様々なコートの始祖。
貴族の旅行用コートとして興ったデザイン。
元々はかなり着丈が長く、
また重厚な生地を使用していた。
アルスターカラーと呼ばれる
上衿の大きいデザインが特徴。
ボロコートは、アルスターを元に様々な
ディテールを付加して派生したものである。
現代ではモダン化されているが、
それを見る人はやはりクラシカルな空気を
憶えるだろう。



Single Raglan Coat

そこには静謐な美しさがあった。
ショルダーの落ちたラグランスリーブは、
エフォートレスな空気を纏う。
大きくゆとりをもったサイズ設定だが、
切り返しのある2枚袖で構築的かつ
立体感のある見目に。
主張せずに佇むコート。
気軽に羽織り、外へ出る。



Double Raglan Coat

歩行によって蹴られた生地は、
まるで川をはしる美しい水のように、
裾に向かって流麗になびく。
シングルラグランをダブルにしたデザイン。
だがその見た目はシングルのものとは
相反するものである。
迫力のあるチェストと落ちた肩。
見る人には、緊張と弛緩を与える。

Polo Coat

男が憧れる、最も荘厳なコート。
その衿型からアルスターコート起源を持つが、
ポロコート自体は1910年代、
英国に憧れの念を抱くアメリカで誕生した。
ターンナップカフ、ポストポケット、
インバーテッドプリーツ等生地を重ねて
作ることによって防寒性を高めており、
重厚感を増して演出する。
出自はスポーティーな物であるが、
その見た目はラグジュアリーそのもの。
男に生まれたからには、
人生の良きタイミングで仕立てるべきである。





One Piece Sleeve Raglan

コートの手を、風がなせる一
袖の中央を走る切り返しと全体の芯地を省き、
より軽くなった一枚袖のバルカラー。
そのドロップしたショルダーは、
リラックスした空気を纏う。
故にオーヴァなサイジングは必須である。
ベルトで絞りを入れることで形成される
タック様な襞によって、深く陰影のついた
ラグジュアリーな雰囲気を放つ。

Trench Coat

トレンチコート。
それは第一次世界大戦禍に開発されたオーバーコートである。

由来は1822年にまで遡る。
塹壕(=トレンチ)戦に於いて兵士を泥濘から守るべく発案され、
1914年に英国陸軍省で正式採用された。
ZERBINOは本物のトレンチコートを求め、
彼の時代のクラシックなディテールを踏襲した。

- ・階級を示す両肩のエポレット
- ・風の侵入を防ぐチンストラップ&アームベルト
- ・通気性を生むストームストラップ
- ・水の侵入を防ぐアンブレラヨーク
- ・脚の開きを妨げないインナーレグプリーツ

仕立ては、1人の職人が裁断から仕上げまでの
全工程を手作業で行う丸縫い。
ダンディズム溢れるディテールながらも、
職人の微細な手仕事が光る。
当時のトレンチコートも、
贅沢に仕立てられたものは限られた将校のみが着用しており、
多くの兵士の憧れであった。

誰もが憧れるコート。
本物を求める方はZERBINOへ。

